

# 日刊 動労千葉

84. 2. 24  
No. 1572

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

# 『大地をうてば響きあり』

（反対同盟が初めて自力ですばらしい本を発行）

## の不屈はほとばしる 魂の農民同盟反対

ぜひ読もう、そして、3・25全力決起で応えよう

三里塚芝山連合空港反対同盟から一冊の書籍が刊行されました。三里塚二期決戦の勝利にむけ、三里塚闘争とは何かをもう一度とらえかえす意味からも、本書は格好の手引となるものです。

3・25三里塚への決起にむけ、全組合員が購読されることを訴えます。

初めて農民自身の手でつくられた本

今回刊行された書籍「大地をうてば響きあり」十八年目の三里塚」は、反対同盟結成以来はじめて反対同盟みずからの手でつくられたものです。本書は、二月に発行後、たちまち反響を呼び、全国各地の書店で品切れが続出、現在注文が殺到しているという状況にあります。

なぜならば、政府・国家権力による問答無用の空港建設に対し、十八年もの長い間、非妥協の実力闘争を家族ぐるみで貫いてきた農民のナマの声は、深い感動をもって読者の心を打たずにはおかないからです。

三里塚闘争の真実と、決起を呼びかける感動の本

反対同盟として本をつくることを決めるや、またたく間に、七二名もの農民の原稿とテープが集まったといえます。

ある同盟員は、生まれて初めて原稿用紙を手にし、またある同盟員は、テープにふきこんで原稿にしたともきました。

それはとりもなおさず、三里塚十八年の闘いを生命をかけて闘いぬいてきた農民が、長谷川一沼田会談による二期着工宣言、そして3・8分裂―脱落派の誕生という事態の中で、三里塚闘争の勝利に確信をもつとともに、一人でも多くの労働者に三里塚闘争の真実を訴え、三里塚闘争への決起を呼びかけたからにはほかなりません。

本書に収録されている農民一人ひとりの言葉は、

本当に読む人の胸をふるわせるものがあり、家族のみなさんにも推薦できるものです。

全組合員が必読し、3・25決起の糧としよう

三里塚二期着工をめぐる情勢は緊迫しています。中曾根は、二期強硬論者の細田を運輸相にすえ、地元千葉二区出身の水野、山村を建設相、農水相に起用する二期推進内閣をつくりました。

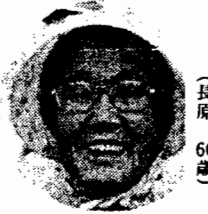
そして、地元自治体を総動員した二期推進キャンペーンを展開する一方、脱落派、成田用水推進派をも利用した反対同盟破壊によって、一気に二期着工にふみきろうとしています。

まさに、中曾根の軍事大国化・改憲、戦争へむけた突破口である二期着工を阻止できるかどうかは、3・25の成功に一切がかかっているといっても過言ではありません。

すでに、芝山町議選で鈴木幸司氏の高位当選という緒戦に勝利した反対同盟は、3・25大結集―二期決戦勝利にむけ、全国に檄を発しています。動労千葉は、この反対同盟の呼びかけにこたえ二期決戦勝利と日本労働運動の大転換をかけて、3・25三里塚への五割動員を実現しようではありませんか。

そのための糧として、全組合員が「大地をうてば響きあり」十八年目の三里塚」を必読されんことを訴えます。

社会評論社（東京都文京区本郷二の五の十）発行・四六版二七〇頁・定価一五〇〇円（送料二五〇円）。なお、書店で売り切れの場合は、本教宣部あてに注文してください。



会田芳枝  
（長原、66歳）

勝つまで

死ぬぬ

P.224 全回のみぞん、婦人行動隊をすす

一一・九レーガン来日阻止闘争をやって、胸のつかえがおりてスリットとした。血圧が上らなかつたのは不思議なものだ。たまっていたのが発散したせいだろうか。

リュックサックへ柿だの豚足を入れて行った。羽田の会場へは、入るところで機動隊の奴らにとめられた。奴ら、中を見せろ」と言うなり、リュックのひもをほどいてしまった。爆弾あるかもしれないぞ」とかまてやった。リュックを降ろそうとしたら柿だの豚足がころげ出て、坂をころころころがり落ちたもんだ。奴らあわてて一生懸命おいかけて拾おうとしてんの。そのかつこうの面白いことあそこへ私服車でも来て柿をつぶしたらもつとよかった。タダじゃあすまねえだから。元へもどせと言ってやれたのに残念だったナ。集会へ行って機動隊とやり合うのが楽しみだよ。

家の前も道が狭いのに、機動隊のバスが通って本場に危ない。ちよつとも家に触れたら言つてやろうと思つて、いつも見張っているよ。私服の車もうちの駐車場にUターンできないように、夜は針金張っておくんだ。集会の時は、デモが終わった人らに水を出すことを欠かしたことはない。具合悪い時は頼んで出してもらった。長い間にはいろんなことがあるよ。勝つまで死ぬぬいな。

胸をうつ感動の書・遂に出た必読の書！

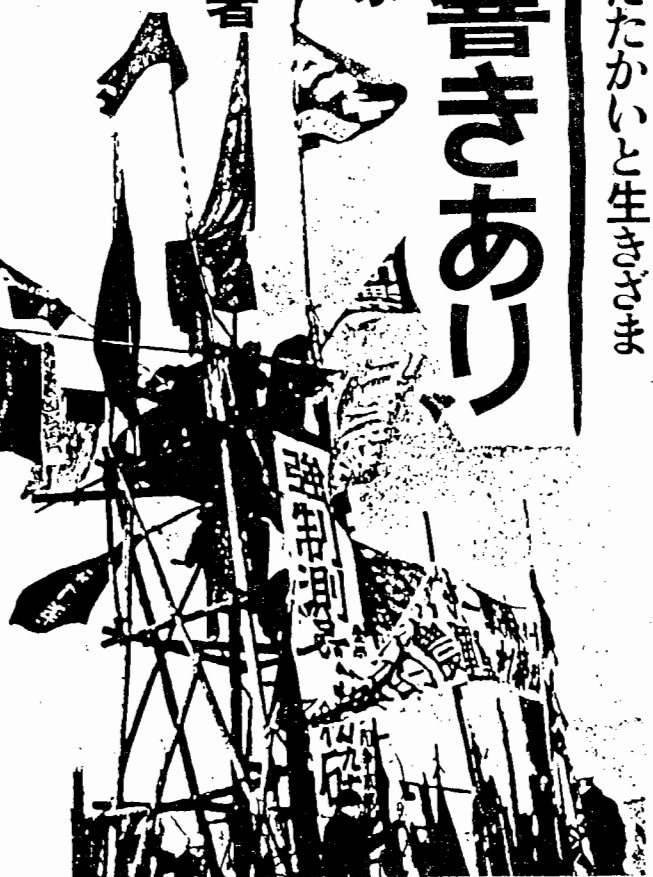
成田空港に敢然と立ちはだかる農民のたたかいと生きざま

# 大地をうつては響きあり

## 十八年目の三里塚

三里塚芝山連合空港反対同盟編著

四六判 定価11500円



空港絶対反対、農地死守、  
労農連帯の旗が

北総台地に翻って十八年間、日本民衆の最前線を

になってきた反対同盟農民がいまいきと語りつづる

闘いと生活の烈々たる

ドキュメント。

「まえがき」より

十八年の長い闘争を振り返ってみると、悲しい事、苦しかった事が胸一杯に広がっています。……機動隊・公団にいじめられて、私たちは強くなったかと思えます。……あつという間の十八年でした。二人の子どもは私の背だけを追いこし、頼もしくなりました。この子どもたちの故郷をなくさないように、家族とともにがんばっていきましょう。」「全国のみなさん、婦人行動隊です」より



Ⅲ 二期攻撃と反対同盟の再生

- 1 二期のための「話し合い」
- 2 成田用水問題のワナ
- 3 「一坪再共有化運動」の犯罪性
- 4 三・八決起と同盟の再武装

Ⅳ 全国のみなさん、婦人行動隊です

- 三里塚の女たち三十余名の証言記録
- Ⅴ 三・八分裂と青年行動隊へ座談会
- 三里塚十八年の総括と展望

まえがき ● 北原鉦治

Ⅰ 二期用地内から全国に訴える

農地死守—三里塚闘争の原点 ● 小川嘉吉  
われら十八年の大義を貫く ● 島村良助

Ⅱ 百姓に空港はいらない。一期をめぐる闘い

- 1 突如、空港が来た
- 2 切崩し、そして条件派
- 3 共産党と全学連
- 4 暴虐の嵐
- 吹くなか
- 5 開港阻止決戦

### 社会評論社

東京都文京区本郷2-5-10

☎814-3861

振替 / 東京7-89969 送料250円

84年2月、発売と共に爆発的反響、全国の書店でたちまち売り切れ！  
現在、大至急、第2刷を増刷中。購読希望者は、本部教宣部までお申し込み下さい。